

福地櫻癡 ふぢち 劇作家、小説家、史論家、新聞記者。天保十一年二月二十三日肥前國生れ、明治二十九年一月四日没（八四―九六）。謹萬世、字尚甫、幼名八千吉、通稱源一郎。筆名のゆりやさくら癡、仙舟、吾曹子、夢の屋、夢の屋おぼろ、夢の舎主人、夢の舎市五郎、星舎主人春泓小史、櫻癡居士、櫻癡老髯、池畔釣夫、源一、猫屋遣人、白髯老書生、福地源、福地鬼外、遊女の家市五郎、櫻池等。幕府の通辯となり、随員として二度渡歐。慶應四年條野採莉等と「江湖新聞」を創刊し筆禍下獄。明治四年岩倉遣歐使節團に随行。七年「東京日日新聞」主筆となり政府側の立場から自由民権運動を批判、御用新聞の悪評を得た。のち劇作など著述に専心。

著譯書 『明治の大家文鈔』全三冊（合著・因又）編、明治十二年四月二十一日山中市共衛刊、『國史論編』（合著・山岸又藏編、明治十三年六月）二十日甘泉堂、『薩長論』（中林潔編、明治十九年一月）二十日白報社、『枝久光公記』（明治二十一年八月十五日刻成・九月四日版權免許・自刊、白報社）、『會話美談』（池畔釣夫各、白報社編、明治二十一年十月）二十四日金泉堂、『ビーコンヌフ井ーレド作』『昆大利物語・上篇』（塚原清共譯、明治二十一年十一月七日藏王堂）、近松門左衛門涼作『相馬平氏』  
 『二代譚』（改作、明治二十二年四月



十四日版權免許  
 ・自刊、よまこと  
 新聞社發賣、



『橋叢書』（明治二十四年十一月）二十日金泉堂本店、新曲所作浄瑠璃

『小山督』 (明治二十四年十一月) 二十一日金港堂本店)、演劇 脚本 『高野物語』 (明治二十五年一月) 『白博文館』、改作 求女塚身替新田 著作 女補 賢母教訓

野次郎』 (明治二十五年二月) 『白博文館』、改作 求女塚身替新田 著作 女補 賢母教訓

『河竹新七訂正』 (明治二十五年三月) 『白博文館』、『關原聖凱歌』

『河竹新七校』 (明治二十五年十月) 『白博文館』、『櫻濑成言』 (明治二十五年十一月)

『二十五日春陽堂』、『天世徳共齋』 (明治二十五年十一月)

『十五日春陽堂』、『練絹新二郎』 (明治二十五年十一月) 『二十日金港堂

書籍株式會社)、 『東鑑洋賀卷一附春興鏡獅子』 (明治二十六年二月

十日博文館)、 『櫻濑滑稽談』 (花 臘 梅) (明治二十六年三月十

五日博文館)、 脚本 『十時會稽會杖』 (河竹新七補助、 明治二十六年

年五月八日博文館)、 『第二國民小説』 (合著、 明治二十六年六月一

日民友社)、 『素人芝居』 (明治二十六年八月十日金港堂書籍株式會

社)、 『大久保彦左衛門』 (明治二十八年十月一日博文館)、 『櫻濑

新編』 (亂初右衛門) (明治二十八年十一月) 『二十四日春陽堂』、可決

『客春雨傘』 (明治二十七年一月) 『二十日春陽堂』、『葵御紋』 (明治二十

七年一月五日) (明治二十七年一月五日) (二館)、 『嘘八百』 (明治

二十七年一月) 『二十四日春陽堂』、『浮世見物』 (附滑稽 講義) 『歌仙』 (明治

二十七年一月) 『二十四日春陽堂』、

『夢公夢中』 (明治二十七年四月

五日春陽堂)、 『懷往事談一附新

聞紙實歷』 (明治二十七年四月五

日民友社。再刊。昭和十六年六月

十九日改造社「改造文庫」)、 『白

蓮記』 (明治二十七年五月五日博文館)、 新作滑稽劇 『互疑惑』 (明



夢の夢中  
昭和十六年七月



治二十七年七月二十八日自刊）、『唾の涙』（明治二十七年九月五日

一）（二館）、『秘密手匣』（内題

『秘密の手匣』（明治二十七年九月

扶桑堂）、井上角五郎と案、『張嬪

一朝鮮宮中物語』（手稿、手塚猛

昌編、明治二十七年十一月二十二

日東京新聞社）、『新浮世風呂』

（明治二十七年十一月扶桑堂）、『伏魔殿（前編・怪物屋敷）（後編・嘘の世の中）』（明

治二十八年九月四日春陽堂）、『雙鳥嵐』（明治二十八年七月十日春

陽堂）、『御落胤』（三版・明治二十八年十月十日）（二館）、『水

野鷲老』（明治二十八年十一月二日）（二館）、『函面假與真』（明

治二十八年十一月十八日）（金港堂書籍株式会社）、『水野鷲老・後之文』（

（明治二十八年十一月二十五日）（二館。附・拍劔子記「水野越前守

本傳」）、『秋の夕暮』（明治二十九年七月十二日春陽堂）、『自註

増訂としの草紙』（明治二十一年一月一日春陽堂）、演説『孔夫子』（

（明治二十一年十一月十五日自刊。再刊・昭和四年七月一日福地信世

刊）、『山陰麒麟』附録『橋洪養』

（明治二十二年八月十四日文武

堂）、『みだり焼』（明治二十二年

年一月一日春陽堂）、『各士の暗

好』（合著・中央新聞社編、明治

二十二年一月二十一日日本文武堂）、

『暮末政治家』（明治二十二年六月十七日民友社）、『思ひ思ひ』（内



題「おと心」(明治三十四年八月十六日春陽堂)、  
「芳哉義士誓書」

(明治三十四年十月九日博文館)、  
「薄命の花」(明治三十五年四月

四日春陽堂)、  
「再訂春白局」(明治三十五年五月十日金港堂書籍株式會社)、  
「山中平九郎一附求馬(女)豚身替新田」(明治三十五年五月

月二十一日博文館)、  
根本吐芳著「破二味線」(明治三十五年七月九

日春陽堂。附・櫻濑居「大森彦七」)、  
「長崎二百年間」外交變遷

事情」(明治三十五年十月二十日博文館)、  
「肥後武士花盛劇楓葉」

(明治三十八年二月十八日博文館)、  
「小幡山」(明治三十八年八月

十六日金港堂書籍株式會社)、  
「烏丸光廣卿」(明治三十八年七月十

五日春陽堂)、  
「睡玉集」(合著・後藤青々園・宙外綺、明治三十九年九月

十九日春陽堂)、  
遺稿「脚木みづの焼」(榎本破笠補作、明治四十年一

月十八日春陽堂)、  
「生青年諸君」(合著、明治四十二年四月十日大

盛堂書店)、  
「櫻濑集・第一卷」(明治四十四年十一月十日春陽

堂)、  
「俠客春雨傘」(大正六年一

月二十四日春陽堂)、  
「春雨傘」(杵

屋六左衛門節附、大正十一年十一月

法木書店)、  
「幕府衰亡論」(改版

・大正十五年二月二十一日民友社)、  
「重善七」(昭和四十九年十一月一

十日世界文庫「部落問題」文芸・作「選集」)等。

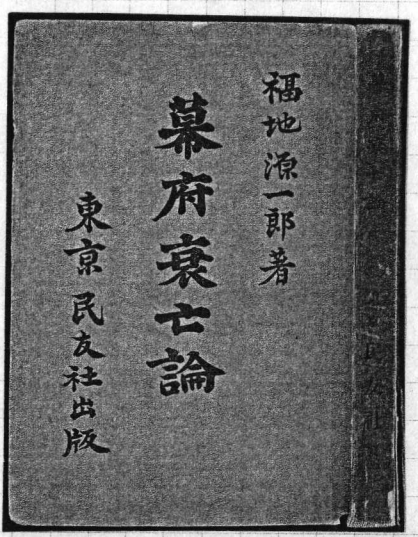
文獻、榎本破笠著「櫻濑居」(川團十郎) (明治二十六年十一月一

日國光社)、  
川邊真藏著「福地櫻痴」(内題「報章先驅者福地櫻痴」昭和

十七年五月二十日三省堂)、  
食瀨南比著「作者部屋から」(昭和十九

年五月二十日三省堂)、  
食瀨南比著「作者部屋から」(昭和十九

年五月二十日三省堂)、  
食瀨南比著「作者部屋から」(昭和十九





年一月十日大阪・宋蒙堂）、柳田泉著『福地桜痴』（昭和四十年十一月十日）等。

